

平成 27 年 10 月 21 日

各 位

上場会社名 モジュール株式会社

(JASDAQ: 3043)

代 表 者 代表取締役 松村 明

問 合 せ 先 財務&amp;経企責任者 小田 真理

(TEL: 03-3454-2061)

**通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月20日に公表した通期業績予想及び平成27年5月8日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

平成28年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日~平成28年5月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,300	190	170	110	円 銭 86.44
今回発表予想(B)	1,900	200	180	150	117.87
増減額(B-A)	-400	10	10	40	—
増減率(%)	-17.4	5.3	5.9	36.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	2,115	183	159	103	77.31

※1. 当社は、平成27年6月18日開催の定時株主総会において、決算期を5月末に変更いたしました。これにより、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、平成27年4月1日から平成28年5月31日までの14ヶ月間となります。

2. 前期実績(平成27年3月期)は、平成26年4月1日~平成27年3月31日の12ヶ月決算の数値です。

## 2. 修正の理由

売上高につきましては、経営資源を活況なITサービスにより集中し、計画していた利益率の低いデジタルマーケティングサービスを行わない事とした為により、前回予想を下回る見込みです。

また、効率性向上を継続して推進し、適正なコスト構造を追及することで販管費等の費用が抑制されております。

なお、本日(平成27年10月21日)「債権譲渡に関するお知らせ」においてお知らせしているとおり、貸付金債権の譲渡を決定したため、税務上は否認されていた貸倒引当金が損金として認容される見込みであり、平成28年5月期末における税負担額が軽減する見通しです。

この結果、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

### 3. 配当予想の修正

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年5月8日)	—	0.00	—	—	21.00	21.00
今回修正予想	—	0.00	—	—	30.00	30.00
当期実績	—	—				
前期実績 (平成27年3月期)	—	—	—	—	20.00	20.00

※当社は、平成27年6月18日開催の定時株主総会において、決算期を5月末に変更いたしました。これにより、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、平成27年4月1日から平成28年5月31日までの14ヶ月間となります。

### 4. 修正の理由

当社は、配当性向25%程度を基本とし、更に配当性向の向上を目指す方針であります。

上記の通り、平成28年5月期の通期業績予想の当期純利益が、前回公表した予想を上回る見込みであることから、期末配当予想を30.00円に修正いたします。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上